

# 県勢初制覇！最優秀賞受賞！

全国大会への出場が決まった時、「私たちが目指す介助・支援を行い、1位を目指す」という目標を立てました。また、介助・支援をさせて頂くにあたり「明るさと優しさ」をテーマに、笑顔で接することが出来るよう練習を重ねました。日々の練習では、自分自身やメンバーと向き合う中で、すれ違うことも多々ありました。しかし、これまで一緒に取り組んできたメンバーと臨める最後の大会であること、さらに私たちが立てた目標を再確認し、気持ちを奮い立たせて準備を進めました。

全国大会が開催される石川県に入った際、沖縄県との気温差が10度あり体調を管理する難しさや大切さを学びました。僅かな時間ではありましたが、宿泊先で課題の確認を何度も何度も行いました。本番では各地区ブロック代表選手の中で緊張もありましたが、メンバー同士で緊張をほぐす工夫を行ったり、「『私たちらしさ』と『笑顔』を忘れずに」を合言葉に臨みました。

競技終了後の審査発表で、最後に沖縄県立真和志高校の名前が呼ばれた時は、嬉しさよりも驚きでメンバー同士で目を見開きながら確認したのを覚えています。

今回、最優秀賞を頂けたのは、沢山の先生方に支えられ、応援してもらい、同じように一緒に取り組んできた仲間を信じ、そして介護福祉コースのメンバーや他県の代表選手との出会い、その時もらった言葉があったからだ実感しています。その言葉には励ましの言葉や涙もあり、本当に勇気を貰いました。本当に感謝しています。もちろん、家族にはもっと感謝の気持ちがあります。

私は1年生で全国大会に参加しました。毎日、先輩達と一緒に練習に励み、先輩達の努力を感じました。この時間を大切にしたいです。次の目標として「次の全国大会にも必ず出場するために、学校予選、沖縄県予選、九州地区大会、そして全国大会に必ず出場する」と目標を立てています。そして、私たちのそれぞれの夢を叶えるために、これからも沖縄らしさを表現し「笑顔と明るさ」を忘れず、利用者さんに喜んで頂ける介護福祉士を目指します。

介護福祉コース 3年 城間 恵美、松本 明日香 2年 謝花 明里 1年 宮平 麻衣



